

オルガテック- 現代のオフィス環境のトレンドセッター、かつ独創的なホットスポットであることを実証

- オルガテック 2016、会場は大盛況で閉幕
- 前回は 10% を超える来場者数で記録を更新
- 海外からの来場者は半数以上

オルガテック 2016 は、驚異的な成果を収めて 2016 年 10 月 29 日（土）に閉幕しました。今日の職場環境をリードする国際見本市として、118 カ国からの来場者は 56,000 人を上回り、来場者数は前回から 10% 以上アップしました。今回の見本市の主要テーマ「creativity works - 仕事のあり方を見直す」が出展者のプレゼンテーション全体に共通項のように広がり、特に設計業者やデザイナーから称賛を浴びました。オルガテックが現代のオフィス環境の独創的なホットスポットとしてそのステータスを築き上げた点に関しては出展者と来場者の意見が一致しました。ケルンメッセ副社長のカタリーナ・クリスティーネ・ハマ氏は次のように語っています。「私たちの期待をはるかに上回る結果となりました。特に喜ばしいことは、多くの設計業者やデザイナーだけではなく、数多くのトップクラスの意思決定者が、最新の総合的なオフィス環境のコンセプトを求めるユーザーとして今年のオルガテックに来場したことです」。このことは、現代のオフィス環境を企業戦略に取り入れる上で大きな重要性を示している、とハマ氏は付け加えました。ドイツオフィスインテリア協会（IBA）のヘンドリック・フント会長は、世界中から集まった出展者がケルンで示した包括的ソリューションの中に、企業の技術革新力が確実に存在していることも確信しています。彼の結論は、次のようなものです。「出展者は、今日の課題に対して創造性に富んだソリューションを提供できることを見事に証明してくれました。設計業者、デザイナー、そして経済産業界のトップの意思決定者は、このことを高く評価しています。これによって、オルガテックはビジネスにとって重要なイベントとして欠くことのできない存在であり続けます。この見本市は、将来の事業を成功させる上で転換点になるでしょう」。

国際性についても、オルガテック 2016 は完全に納得のいくものでした。現代のオフィス環境をリードする国際見本市には、海外からの来場者が前回よりはるかに多くケルンを訪れました。その中でも EU 諸国（+18.6%）、中東（+14.2%）、アジア（+63%）、アフリカ（+13%）からの専門家の来場者比率が目立って増加しました。スタートアップ企業創設者に始まり、中堅企業のディーラーや意思決定者、そして大企業の幹部まで、あらゆる来場者がオルガテックをグローバルなネットワーク／ビジネスのプラットフォームとして活用しています。そして、それは非常に成果の高いものでした。来場者を対象に行ったアンケートでは、圧倒的多数が今回の見本市のあり方に関してきわめて好意的な意見を示しました。「来場目的を果たせましたか」という質問に、アンケート回答者の 86% が「（十分に）果たせた」と回答しています。また出展内容については 86% 以上が「（非常に）良い」と評価しました。「ビジネ

パートナーにオルガテックへの来場を薦める」と答えた回答者は94%に上りました。

Seite
2/3

メインテーマ：「未来のオフィス環境に対応した総合的ソリューション」

オルガテックのテーマと同様に、671社の出展企業の製品・サービスも変化に富んだものでした。その出展企業にはほとんどすべての業界大手が含まれます。インテリアから、照明、フロアリング、音響、ハイテク会議システム、そして情報／通信テクノロジーにいたるまで、あらゆるセグメントで、来場者はケルンで企業が発表した高品質製品やサービスから多くの利点を得ることができました。よく目にする包括的なコンセプトの多くが、共同作業の新形態に求められるソリューションはどのようなものか、という疑問を取り扱いました。それに対する産業界の答えは、独創的で多様性に富んでいました。その回答は、すべてを備えたデスクから柔軟性の高いルームシステムやインテリアまでにおよび、これらは、ネットワーク作業および社員の健康や幸福も支援するためのものです。それどころか、柔軟性や健康へのこだわりはデスクだけに留まりません。カラーコンセプト、個人向け照明設備、音響対策を包括的コンセプトに統合するソリューションも数多く見られました。さらには、チーム／プロジェクト作業空間のためのシステムや、職場環境のデジタル化を実現する柔軟性の高いソリューションにも大きな関心が集まりました。特に人気が高かったのは形状、レイアウト、デザインに関する個人のニーズに対応する複雑なワークスペースを設計した製品でした。

時代の鼓動を感じさせる優れたサポートプログラム

オルガテック 2016 の優れたサポートプログラムは、来場者全員から好評を博しました。トップレベルの会議やフォーラムには多くの人々が参加しました。オルガテックが設計業者、プランナー、ディーラー、そして産業界にとっての専門的なクリエイティブセンターのトップに成長したことがこれほど感じられた場合は、他にありません。一流の講演者と、ターゲット層が現在関心を抱いているテーマに焦点をあてた活発な議論は、プログラム終了後も長く、また豊富に話題を提供しました。だからこそ、参加者の大部分の評価が非常に好意的になったのです。これは時代の鼓動を感じさせるプログラムであり、国際的な主導的見本市に値するものでした。

著名な週刊誌『DIE ZEIT』による「Work & Style カンファレンス」が大きな反響をもって初めて開催されました。このカンファレンスでは、仕事の未来に関する差し迫った問題が取り上げられました。一流のゲストとトップクラスの公開ディスカッションは、一般の関心を大いに引きつけました。ハヨ・シューマツハ氏が司会を務めたオルガテックのトレンドフォーラムではどの日も会場は満席でした。この討論会は、現代のオフィス環境に対応した創造性とデザインの重要性に主眼を置いた内容でした。オルガテックの来場者は、共働スペースのデザインが及ぼす影響を特別展示「The smart coworking lobby」で見ることができました。あらゆる面で効果的な共働ワークスタイルのモデルが発表され、見本市初日から最終日まで来場者の列が絶えませんでした。

オルガテックが上げたもう一つの例として、「SEO Day Cologne」が挙げられます。ケルンで開催される第7回インターネットウィークの一環として、今年、ドイツ語圏で検索エンジン最適化に関する最も重要な討論会が今回初めてオルガテックの会場で行われました。約850人の専門家がノース・ kongress センター (Congress Center North) に来場し、未来の職場環境について考察しました。オルガテックは特

別展示「RE/WORK - Moments of Inspiration by Ippolito Fleitz Group」と「オルガテック大通り (Boulevard)」で、驚くべき設備と創造性に富んだデザインハイライトを世界各国からの来場者に提示しました。この場で、ケルンメッセはドイツオフィスインテリア協会 (IBA) と共同で、テーマ「Creativity Works」に関する多様なプロジェクトを発表しました。今回展示された独創的な製品は、実際に触れて体験してもらうことで来場者を魅了し、双方向の情報交換が生じたという観点からも、大きな成功を収めたと言えるでしょう。さらに、バラエティ豊かなテーマで来場者にさまざまなインスピレーションを与えたスピーカーズコーナーでの専門家の講演には、多くの人が集まりました。

[2016 年オルガテックメッセデータ]

出展者数： 40 カ国 671 社 (2014 年：40 カ国 627 社)
ドイツ国内 182 社 (2014 年：211 社)
海外 489 社 (2014 年：416 社)
海外からの出展比率 73% (2014 年：66%)
来場者数： 118 カ国 56,000 人超
(最終日の推定人数含む。2014 年：123 カ国約 50,000 人)
総展示面積： 約 130,000 m² (2014 年：105,000 m²)

*以上の数字は見本市統計管理協会(FKM)の指針に基づき算出され、公認会計士の監査を受けています (www.fkm.de)。

次回の「オルガテック」は、2018 年 10 月 23 日～27 日に開催されます。

デジタルプレスサービス：
ファイナルレポート、その他プレスリリース、出展者情報、新製品情報一覧、写真とロゴのデータバンクは www.orgatec.com - Press でご覧いただけます。

本レポートを転載される場合には掲載紙をお送り下さい。

オルガテックに関するお問い合わせ：
ケルンメッセ株式会社
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-13-6 恵比寿 IS ビル 5 階
Tel : 03-5793-7770 Fax : 03-5793-7771
e-mail: kmjpn@koelnmesse.jp URL: www.koelnmesse.jp/orgatec